

便通二回 前日よりは宜しき様なり粒なし

十月十一日 元氣少しく宜し

便通一回

十月十三日 食べたがる事甚し

便通三回 少しく粘あり水分多し

十月十五日 より廿九日頃までは毎日 全じ容體にて 便通は一回或は二回 元氣は追々宜し。

食事は魚肉一回の量三匁。種類はせいご、かれい、ひらめ、あまだい、こわじ、あいなめ等。

粥酒香猪口に三盃又は四盃、麥煎汁二盃にて晝

四回 夜二回又は三回。近頃は歩く事も、這ふ事も全く已めて、たい元氣なく、抱かれて居るのみ。たいし、空腹に迫る時は、マンマ〜といひつゝ、臺所の方に向ひ、力なき身體をいざりよせるのみ。生後一年五ヶ月許りなり

割烹

石井泰次郎

昔時の割烹の本の内で、記し方の可のを少しぬきまして、今の料理の筆記と合せて見るたよりに致します、

◎胡椒飯のたき方 こせうの名をきらいます地方では祝の粉と申してをります

米一升到、胡椒の粉を小匙に三杯、醬油を小皿に一杯、一所にまぜまして、水加減をして、飯にた

きます膳に組立て進めます時には、飯椀、汁はかつを煎汁、醬油からくはないほどに加減して、青い

きざみ昆布を短く切て入れまして、鴨頭には大根

あろし、陳皮、蕃椒、山葵等を手鹽皿に盛て添て

ねせんを進めます、

◎桔梗玉子の拵方

鶏卵を煮ぬきまして、皮を去りまして、又湯の中

へ入れ、温かき内に、箸を五方からあて、糸で結んで桔梗の形にして、再び湯煮すると、内の黄身ともに花のかたちになります、柿玉子、ねぢり玉子にするのも同然であります、箸を五方にわたる時には、玉子をたてに布巾に包んでから、あてるのです、

◎白田樂の拵方

豆腐を、常の如く田樂にして、味噌と胡麻を油にととままして、やかぬ豆腐にぬりて焼くのです、さうすると、味噌がこげないで、内へ火氣がよくとほります、

◎よせとつさか海苔の拵方

雞冠苔、洗ひて、湯煮を能くいたしまして、とけますのを、鹿毛篩で、こしまして、角の器へうつして冷して、細く切りまして、さしみに用ひます

◎鹽だこ潮煮の拵方

鹽だこを、能く洗ひまして、皮いばともに庖丁刀で引去りまして、二つ三つつなぎに薄く切りまして、鍋へ何も入れないで、鍋をやいて、切だこを入れて、蓋をして、煮ますと鹽が出ます、そこで蛸をあげまして、蛸から出たしほを其まゝ用ひまして、水を加へて加減いたしまして、たこは別に煮ませんで、あたゝめて直に實につかひます、

◎信樂わへの拵方

午莠を、庖丁刀で、さゝがきに細くけづりましてから、湯煮しまして、箆へあげて水氣を去りまして、山椒みそなどにて、あへて出します、

◎白梅酒の拵方

冬の内、白梅の數百ばかり、水に漬て一夜ねきまして、内の匂ひを取去りて、瓣ばかりを輕き酒に

漬ねきます、酒一升に花びら百、雪の水少量入れ
まして、霜月中旬に仕込みましたのを、一月一日
からつかひます、飲みます前に、絹漉しにしまし
て出します、

◎とろ、汁温むる仕方

つくね芋をすりねろしまして、生栗を一つすり入
れて、和らかに仕立て、鍋へうつしまして、暖め
ますと切れることがない、強くたくとねばりがつ
よくていけません、そろそろたくのです、又いま
り焼の茶碗を入れてわたさむることもあります、

◎鱧の鮭焼の拵方

すいさを三枚にねろしまして、身に鹽をふりかけ
て、酒につけておき、醬油をうすくして酒を合せ
だのをかけ、焼さまして、ねり酒を上に引きま
して照を見せます、

◎みかん膾の拵方

蜜柑の袋をうらがへして、十五六ばかり皿に盛ま
して、砂糖をかけて出します、

◎兵庫煮の拵方

ちひさき鱧の腸を去りまして、木口に骨ともに薄
く切りまして、薄醬油で煮て出します、

◎毒子汁の拵方

生車海車の皮を去りまして、身ばかりを能くた
き、搦盆にてすりまして、丸くちひさく取まして
汁へ入れます、色赤く菓子の子のやうになり
ます、

◎雲かけ豆腐の拵方

豆腐をよきほどに切りまして、米の粉にまぶしま
して、蒸籠に入れてむしまして、わさびみそをか
けて出します、器は茶碗でも、椀でもよろしい、

◎煮あへの拵方（とろかた）

大根をたんざくに切つて、湯煮しまして、胡麻みそ、生姜みそかたくつくりまして、大根の湯をすてまして、鍋へ右のみそを入れてあへます、

家庭に於ける所感（承前）

長野 飯塚忠次郎

又自分でこれは善良のものであると思ふてもよくよくぎんみして小兒に與へねばいけません、そして小兒がいくら菓子が好きだからとてむやみやたらにいゝなりほうだいに多くわたへないようになさいまし、よく体育の如何を考へて身体の營養にさまざまない害のない程度をみはからつてわたへぬといけません、御承知の如く小兒は何もかもむとんじやくに、たいむやみと多くたべたがりです

からそのへんの事柄は特に小兒さんをおもちのかたに御注意をねがいたいことで之も家内衛生の一端かと思ひます。

九) 幼兒と玩具

幼兒とは未だ學校に通はざるいとけなき兒童を指し示るので、今私のお話しせんとするは、重に幼兒についての玩具の事で御座います、切て幼兒と玩具とは甚だ密接な關係がありますから大に撰擇するの必要があるので、然るを世の人々は此様な事については御考へがうすいか淺いかそれはとにかく、工夫の巧なもの美しいものをのみ買求めて幼兒にわたへよろこぶのを以て御満足としてゐられる、ブリキ製でわれ、ガラス製でわれ、なんでも幼兒のきにいるようなものを、買ひ求めてやるといふ風習があるように存じられます、幼兒